

# たふい

No. **208**

2023. 5

## 議会だより



### 令和5年第1回臨時会(1月)

審議・議決内容

2

### 令和5年第2回定例会(3月)

予算審査、審議・議決内容

3

常任委員会

8

一般質問

10

第1回臨時会が、1月26日に開かれ、令和4年度垂井町一般会計補正予算、契約案件など、町長提出議案4件を審議・議決しました。

## 第1回臨時会



### 令和4年度垂井町一般会計補正予算(第9号)

可決

歳入歳出予算にそれぞれ1,708万2千円を追加し、歳入歳出の総額がそれぞれ106億7,199万8千円になりました。

#### ●出産・子育て応援給付金給付事業

妊娠から出産・子育てまでの様々な相談に応じながら経済的な支援を行うため、妊娠届時に面談を受けた妊婦を対象に5万円を、出生後の保健師等による面談を受けた養育者を対象に新生児1人あたり5万円を給付。



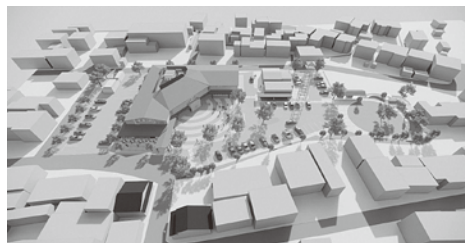
### (仮称)旧庁舎跡地にぎわい創出施設整備事業請負契約の変更

可決

(仮称)旧庁舎跡地にぎわい創出施設整備事業を進める中で、建設工事の資材価格の高騰や、追加工事に伴い施設整備費用等が1億2,578万5千円増額することを受け、議会では、請負契約の変更について審議し、可決しました。

●契約金額(変更後) 15億2,388万5千円

- 追加工事内容
- ①旧JAにしみの垂井支店用地を駐車場として整備
  - ②事業区域西側を公園として整備し、インクルーシブ遊具を含む大型遊具などを設置



## その他、今回の臨時会において審議・議決した議案等



条例

可決 1件

- ・垂井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び垂井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について



その他

承認 1件 ・専決処分の承認について

許可 1件 ・太田佳祐君の議員辞職の件

選任 1件 ・議会運営委員会委員の補充選任



## 第2回定例会

3月定例会は、3月2日から17日までの会期16日間で開かれ、令和5年度垂井町一般会計、特別会計及び公営企業会計予算、条例の改正、令和4年度一般会計及び特別会計補正予算など、町長提出議案22件、議会議案1件を審議・議決しました。



### 垂井町巡回バス運行条例の一部改正

可決



New

#### ●令和5年度から1日乗車券(乗り放題)を追加

町巡回バス利用者数の増加を図るため、1日乗り放題の「1日乗車券」を導入するにあたり、関係する条例の一部改正について議決しました。

種別		金額
乗車料金(1人1乗車)		100円
回数券	100円券(11枚つづり)	1,000円
定期券	1カ月	2,000円
	3カ月	5,000円
	6カ月	9,000円
1日乗車券(1人1日乗車)		300円



### 令和4年度垂井町一般会計補正予算(第10号)

可決

歳入歳出予算にそれぞれ2,571万3千円を追加し、歳入歳出の総額がそれぞれ106億9,771万1千円になりました。なお、歳出予算の主なものは、以下のとおりです。



#### ●財政調整基金 9,195万3千円を増額

今後の財政支出に備えるため、基金を増額しました。

#### ●新型コロナウイルスワクチン接種事業 1,076万5千円を増額

ワクチン接種事業終了に伴う精算事務に要する経費を追加しました。



#### ●児童手当給付事業 1,100万円を減額

児童手当の支給対象児童の減少等により、経費を減額しました。

# 令和5年度予算 総員起立により可決

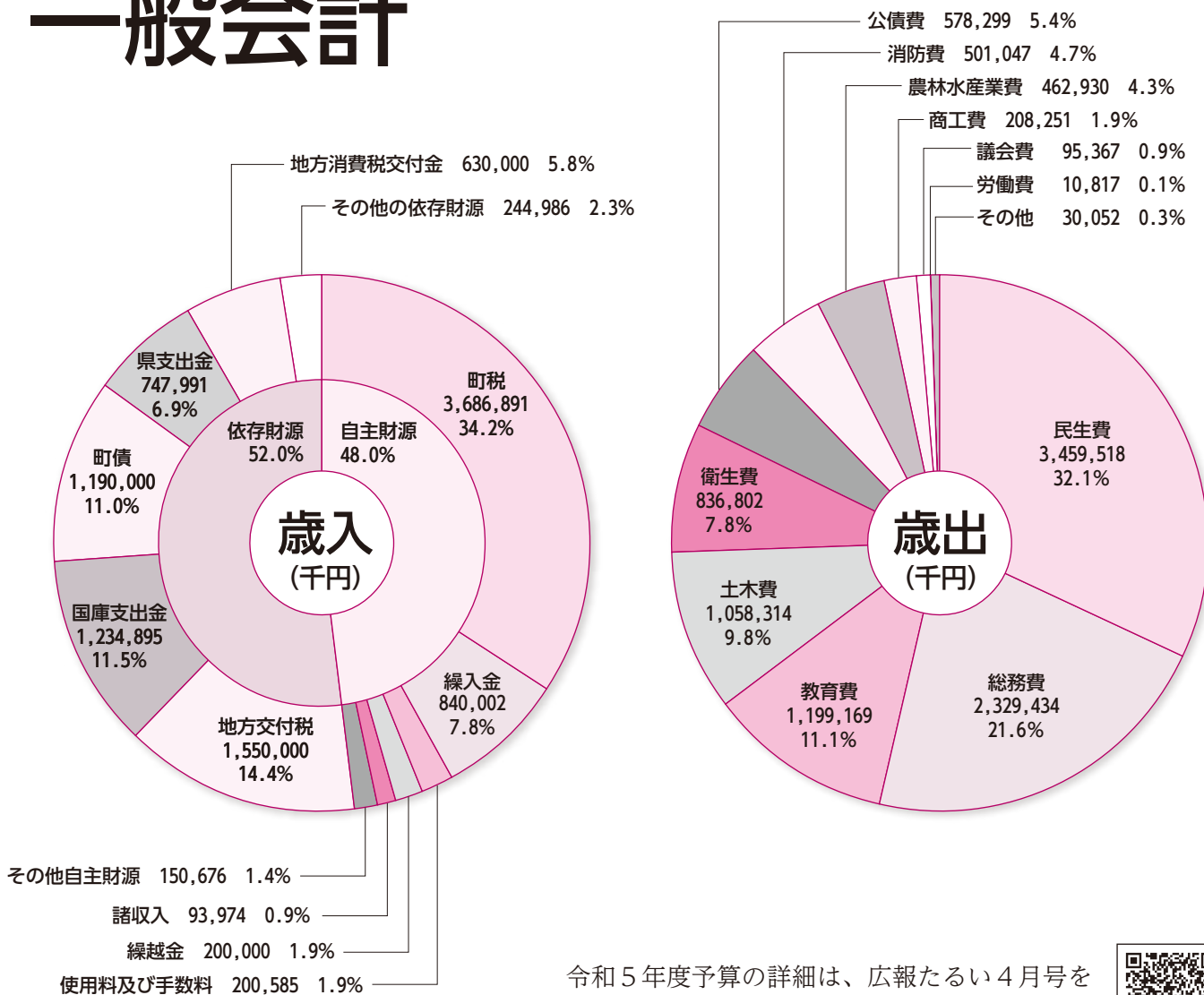


## 総額188億7,327万円 (前年度比5.4%増)

令和5年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計予算の9議案については、藤埴理委員長ほか9名の委員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、審査を付託しました。予算審査特別委員会では、3月8日、9日、10日の3日間にわたり審査を行い、その結果、いずれも可決すべきものと決定しました。その後、本会議で委員長報告を行い、起立採決の結果、総員起立により委員長報告のとおり可決しました。

会計区分	令和5年度予算額	令和4年度予算額	前年度比
○一般会計	107億7,000万円	96億3,000万円	11.8%
○特別会計 合計	71億6,127万円	75億5,067万円	△5.2%
国民健康保険	27億6,000万円	28億1,000万円	△1.8%
簡易水道	0円	6,100万円	皆減
公共下水道事業	11億7,200万円	14億6,400万円	△19.9%
農業集落排水事業	3,640万円	3,700万円	△1.6%
不破郡介護認定審査会	1,180万円	1,160万円	1.7%
介護保険	27億5,000万円	27億5,000万円	増減なし
不破郡障害者総合支援認定審査会	107万円	107万円	増減なし
後期高齢者医療	4億3,000万円	4億1,600万円	3.4%
○水道事業	9億4,200万円	7億3,000万円	29.0%
総合計	188億7,327万円	179億1,067万円	5.4%

# 一般会計



令和5年度予算の詳細は、広報たるい4月号をご覧ください。



## 予算審査特別委員会からの付帯意見

令和5年度垂井町一般会計、特別会計及び公営企業会計予算の可決にあたり、以下の意見を付しました。

我が国においては、景気は緩やかに持ち直している。しかし、不安定な社会情勢により物価が高騰するなど、先行きは見通せず、国民生活や経済活動への影響の長期化が懸念される。

また、少子化による人口減少が進んでいる中、垂井町が目指す子育て支援の実現に向けて、その対策と若年層の転出抑制、転入促進を積極的に取り組まなければならない。

こうした状況のなか、本町では令和5年度の町税が増収見込みとなるものの、エネルギー価格の高騰により、町施設の光熱水費が増加するなど、財政負担が大きくなる傾向がみられる。

このことから、各種事業の遂行にあたっては、「垂井町第6次総合計画」に基づき、各課が連携し、計画的かつ効果的な予算執行に努められるとともに、町民の声を広く聴き、「持続可能なまちづくり」に向けて取り組まれない。

予算審査特別委員会の主な質疑は6ページをご覧ください。





## 予算審査特別委員会

委員長 藤墳 理



予算審査特別委員会では、令和5年度一般会計予算、各特別会計予算及び企業会計予算について、担当所管課から令和5年度の主要事業内容などの説明を聴取し、審査を行いました。

### 公共下水道の推進

- Q. 公共下水道の接続率を上げるための考えは。
- A. すでに合併浄化槽で処理していることや公共下水道へ接続のための資金等の問題により、公共下水道に接続されていない方がいる。そのため、定期的に職員が訪問し、公共下水道への接続をお願いしている。



### 町指定ごみ袋

- Q. 光熱水費が高騰している中、受益者負担としてごみ袋の値上げを検討されたか。
- A. ごみ袋の値段を近隣市町と比較すると、同額なところが多い。値上げすることで不法投棄が増える要因になるおそれがあるため、慎重に検討する。



### 多文化共生事業

- Q. 多言語ユニバーサル情報配信ツールとは。
- A. 多言語に翻訳するアプリを導入する。アプリ内に広報やチラシ等を掲載すると、自動で10カ国語に翻訳されるため、町からの情報を広く周知できることを期待している。



### 英語教育の充実

- Q. 英語指導助手の配置数の拡充を考えているか。
- A. 年間の英語の授業時間数の半分ほどに英語指導助手が入っている。子どもたちには、英語の学力を伸ばすとともに、英語指導助手との関わりを通して、国際感覚を磨くことを期待している。



#### その他の質疑

○庁舎東館改修工事基礎調査等業務の内容	○留守家庭児童教室の利用料金
○ふれあい長寿フェアのあり方	○認知症高齢者等見守り支援事業の啓発
○創業支援事業の効果	○地区計画のスケジュール
○ヤドリギの撤去	○文化会館大ホール舞台技術管理業務 など

その他、今回の定例会において審議・議決した議案等



令和4年度垂井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算にそれぞれ116万8千円を追加し、  
歳入歳出の総額がそれぞれ28億2,433万6千円になりました。

可決



令和4年度垂井町簡易水道特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算にそれぞれ6,208万1千円を追加し、  
歳入歳出の総額がそれぞれ1億2,422万8千円になりました。

可決



令和4年度垂井町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算にそれぞれ3,157万4千円を追加し、  
歳入歳出の総額がそれぞれ14億6,292万6千円になりました。

可決



令和4年度垂井町介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算にそれぞれ150万円を追加し、  
歳入歳出の総額がそれぞれ28億6,614万1千円になりました。

可決



可決 5件

- ・子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ・垂井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ・垂井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び垂井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・垂井町国民健康保険条例の一部改正について
- ・垂井町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について



可決 2件

- ・町道路線の認定について
- ・指定管理者の指定について

同意 1件

- ・副町長の選任について



## 総務産業建設委員会

委員長 乾 豊



総務産業建設委員会では、総務課、企画調整課、税務課、建設課、都市計画課、産業課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員及び農業委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。

### 空き家対策

- Q. 適正な管理ができていない空き家の所有者への対策は。
- A. 相続関係や経済的な理由など、様々な事情により空き家を管理できていない所有者がいる。そのため、その所有者にあった対応を専門家を含めて行っていく。



◀写真はイメージです

### 町巡回バスの見直し

- Q. 町巡回バスの更新によるルート変更は一部だけか。全体的な見直しは行わないのか。
- A. 栗原・表佐・東線「すこやか号」のルートに「栗原西」のバス停を増設した。全体的な見直しは、公共交通会議に諮りながら行っていきたいと考えている。



### (仮称)旧庁舎跡地にぎわい創出施設の名称募集

- Q. (仮称)旧庁舎跡地にぎわい創出施設の名称を募集するにあたり、応募資格は団体や複数人でも可能か。
- A. 学校のクラス単位や団体による応募についても、柔軟に対応していきたいと考えている。



◀外観イメージ図

その他の協議・報告事項	
○公共施設個別計画の対策内容	○垂井町第6次総合計画
○消防団員定数	○農業委員会及び農地利用最適化推進委員の募集
○スマートフォン決済の拡充	○岐阜県水道広域化推進プラン(案)
○庁舎周辺の市街化調整区域における市街化区域の拡大の検討	など





## 文教厚生委員会

委員長 中村 ひとみ



文教厚生委員会では、健康福祉課、子育て推進課、住民課及び教育委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。

### 学校給食に地産地消の食材



- Q. 物価が高騰する中、学校給食に地産地消の食材を使用しているか。
- A. 地元の食材を使用するように努めている。町内の農家で力を入れているところもあるため、地産地消の食材の使用率は高まっている。

### 朝倉運動公園再整備の検討

▶ 企業との意見交換



- Q. 朝倉運動公園の再整備にあたり、遊具の整備など、乳幼児関係にも力を入れるべきと考えるが。
- A. プロジェクトチームでは、企業や団体等との意見交換を行い、朝倉運動公園の可能性を探っている。遊具等について、具体的な話し合いは行っていないが、企業等からの意見を聴取しながら検討していく。

### マイナンバーカード



- Q. 役場庁舎でのマイナンバーカード専用の受付窓口は、引き続き行うのか。
- A. 申請に来られる方が多くみえるため、引き続き、専用受付窓口を設置する。加えて、マイナンバーカードの利便性を周知するとともに、取得促進の広報に尽力する。

#### その他の協議・報告事項

○第3次教育大綱及び第3次教育ビジョン	○第3次垂井町生涯スポーツ振興計画基本計画
○文化会館舞台照明設備更新工事	○陶磁器・粗大ごみ収集
○留守家庭児童教室の入室受付状況	○新型コロナワクチン接種
○学校、こども園における新型コロナウイルス感染症の対応 など	



# 一般質問



乾 豊 議員

通学路の安全対策  
について ほか



## 通学路の安全対策について

**問** 本町における安全対策の現状は。

**答** 学校教育課長 町通学路交通安全プログラムに基づき、町通学路安全推進会議を設置し、通学路の合同点検を実施している。毎年、計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルを繰り返して、通学路の安全向上に努めている。引き続き、関係機関、団体の皆様、町関係課とも連携を図りながら取り組んでいく。

**答** 建設課長 日々の道路パトロールに加え、自治会要望、町通学路安全推進会議及び町交通安全対策協議会からの要望や意見により対



策の検討を行い、整備を進めている。通学路の安全対策は、全国的にも重点施策に位置づけられているため、関係する交付金等を有効に活用し、通学路の安全対策を推進していく。

**答** 企画調整課長 町交通安全協議

会を通じて、交通安全に関する情報提供を行うとともに、児童・生徒の安全な通学路の確保など、町民に対する交通安全教育や交通安全対策に取り組んでいる。また、町交通指導員による交通安全教室の開催や、交通指導車両による町内巡視、児童の登校班に同行するなど、通学時の安全対策にも取り組んでいる。

**問** 大人の目線と子どもの目線では、危険や怖さを感じる箇所が違ふと思うため、子どもの意見を取り入れては。

**答** 副町長 小・中学校PTA連合会や校長会等も交え、町通学路安全推進会議を行っているため、子どもの目線を意識した意見をいただけると思っている。

## 政治参画に向けた小中高生との対話について

**問** 政治参画に向けた模擬選挙や小中高生との対話について、どのように考えているか。

**答** 教育長 子どもたちが町議会や町の仕事などに関心を持ち、町の活性化や将来に向けた提案をすることで、政治参画への意識を高めるとともに、生涯にわたって垂井町に住みたいと思ってもらえればと願っている。今後は、模擬選挙、不破高校も含めた児童・生徒との対話などの取組も模索していく。

**答** 総務課長 学校及び県選挙管理委員会と協力し、児童・生徒の教育課程にあわせた協力や高等学校



不破高校での模擬選挙(平成27年度実施)

での模擬選挙の開催など、機会を通じて小中高生の思いや考え方を聞くことを検討していく。

**問** 小中学校に出向き、実際に子どもたちと対話することが大事であると考えられるか。

**答** 副町長 出前講座を行うことが、子どもたちと対話するための一つの方法であると考えている。ぜひ出前講座を活用していただきたい。





若山 隆史 議員

人口減少抑制策について ほか



人口減少抑制策について

**問** 垂井町に定住してよかったと評価していただけの施策に取り組むべきと考えるが。

**答** 町長 町内の若い定住者が賃貸住宅から町内で新築または住宅を購入される場合など、新たな支援を行う制度を新年度から実施する。定住者に向けた固定資産税相当額の助成などについても、今後の参考にしながら、人口減少の抑制について対策を講じていきたいと考えている。

**答** 税務課長 固定資産税相当額の助成は、誰もが分かりやすく、受け入れやすい施策である。また、当該制度は、一時的な税収にとらわれるのではなく、中長期的なまちづくりを想定する中の人口

増加や税収確保につながる政策であると認識している。現在、運用している移住者のための支援制度内容にも配慮しながら、他の市町村の減免規定に伴う制度設計や先進事例等を十分調査し、慎重に検討していく。

**問** 東京圏からの移住実績や、清流の国ぎふ移住支援の実績、移住定住促進住宅支援のリフォーム以外の実績は。

**答** 企画調整課長 東京圏からの移住、また清流の国ぎふ移住支援補助金について、移住条件のハードルが高いことから実績はない。



移住パンフレット

企業立地促進について

**問** 垂井町企業立地促進条例第2条第1項第1号のその他町長が適当と認める事業とはどのような事業が想定されるか。

**答** 町長 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会全体の価値観も変わり、今後の企業活動においては新たな業種が生まれてくることも想定される。現段階では具体的な事業は想定していないが、対象業種にないものについては、慎重を期していきたいと考えている。

**問** 投下固定資産の総額を1億円以上からを、対象事業者を増やすべく、5,000万円以上に変更する考えはあるか。

**答** 町長 企業側のニーズ、他市町の動向も踏まえながら、より垂井町を魅力的に感じていただけるよう検討していく。

**問** 大規模商業施設や宿泊施設などは、その他町長が適当と認める事業に該当するか。

**答** 副町長 産業の振興と雇用の拡大を図ることができ、町政の進展に寄与する事業というところが決め手になると思っている。町が魅力あるまちとなる、そのような施設でもあるべきと思うので、これから内部でも調整し、協議をかけさせていきたいと思っている。

**問** 町内企業に関する投下固定資産を把握するための情報収集はされているか。

**答** 産業課長 中小企業の方が設備投資されるものに対して、直接的な調査は行っていない。業務等で町内を巡回した際、把握した場合は、情報提供をしている。







栗田利朗議員

北部簡易水道の上水道化について



北部簡易水道の上水道化について

**問** 北部簡易水道を上水道に統合する必要があると考える。これからの垂井町水道事業の在り方も含め、どのように考えているか。

**答** 副町長 北部簡易水道の施設統合については、既存の上水道の配水池との高低差の関係から、新たに中継ポンプ設備や自然流下方式に適した高台に配水池を設け、さらに配水管網の整備が必要であると想定している。しかし、最近の電気料金など動力費の高騰や物価上昇による資機材や工事費の高騰により、事業費にも大きく影響を及ぼしているため、財政状況を鑑みながらハード・ソフト両面から入念に検討する必要がある。来年度に水道事業基本計画を策



北部浄水場

定し、整備計画を作成する予定をしているため、その結果を踏まえて、できるだけ早く統合時期についてお示ししたいと考えている。

**問** 北部簡易水道を上水道に統合するには、昭和63年の供用開始から50年近く要するのか。

**答** 上下水道課長 来年度の水道事業基本計画策定及び整備計画の中で計画を練り、お示ししたいと考えている。

**問** 地域のみなさんは、もっと早く実現してほしいと思っっているが、何が一番の原因か。

**答** 上下水道課長 事業費が最大の原因となる。最近の物価上昇等や、他の水道施設の整備、更新等もあるため、財政面も併せて、北部簡易水道施設の統合を検討していく。



木村千秋議員

女性特有の健康支援について  
【更年期障がいとPMS(月経前症候群)】ほか



女性特有の健康支援について  
【更年期障がいとPMS(月経前症候群)】

**問** 更年期症状やPMS(月経前症候群)についての町の認識は。

**答** 健康福祉課長 女性は性ホルモンの動きによって誘発されやすい疾患や症状が起こりやすく、女性特有の健康問題への支援の必要性が高くなってきていると認識している。また、生涯にわたる様々な変化の中で健康的に過ごすためには、本人や家族の方をはじめ、多くの方に理解を深めていただくことが重要であると考えている。

**問** 相談体制が整っているか。また、相談体制の充実をどのように考えているか。

**答** 健康福祉課長 保健センターで



は、毎月1回健康栄養相談を実施し、女性特有の健康も含め、体や心の健康に関する様々な相談を受けるとともに、相談日に限らず、電話による相談も随時受けている。

今後関係機関と連携を図りながら、適正な人員確保に努め、相談しやすい体制づくり、また情報発信、啓発活動を進めていく。

**問** 地域のかかりつけ医とは、どのように連携されているか。

**答** 健康福祉課長 不破郡医師会と連携をして事業を行っているため、今後は女性特有の問題についても調整や連絡、相談をしたいと考えている。

**問** 人材を確保するための考えは。

**答 総務課長** 新たな事業を行うには、資格が必要な場合もあるため、それらを踏まえながら、適正な人員確保をしていきたい。

**問** 治療に対する補助について、検討されたことがあるか。

**答 健康福祉課長** 治療内容や保険適用等について、情報収集していきたいと考えている。

**有害鳥獣対策について**

**問** 猿による被害について、町これまでの取り組みと今後の有効な対策は。

**答 町長** ニホンザル対策として、追い払いに活用できるよう爆竹やロケット花火を配付してきたが、現在は人馴れが進み逃げるそぶりも見せない状況である。本年度、新たな対策として、県の鳥獣被害対策専門指導員からの紹介により、地獄檻式の箱罠導入事業を展開し、岩手地区をモデル地区として、箱罠を設置している。次年度以降も、本年度の取組状況を踏まえながら、

他地区への檻の設置などを行いたいと考えている。導入地区については、群れの活動状況や被害状況を見極めながら有害鳥獣被害対策協議会での審議を踏まえ決定していきたい。





**藤 壇** 理 議 員

**未来の垂井町のために**



**未来の垂井町のために**

**問** 人口減少を見越した未来をどのように考えているか。

**答 町長** 現在より人も財政規模も縮小することから、その縮小する速度に合った行政運営を行うことが必要であると考えている。そのため、総合計画の後期5か年計画では、「若い世代や子育て世代に選ばれるまちづくり」、「DXの推進による便利で快適なまちづくり」、「次代に引き継ぐ持続可能なまちづくり」を重点戦略として位置づけ、これまでの7つのまちづくりに対して横断的に推進し、垂井町の未来のまちづくりにつなげていくとともに、第7次総合計画へ引き継がれるものとしていきたい。

**問** 未来を想定した効率的な行政運営をどのように考えているか。

**答 町長** AIやICTなどのデジタルを活用したワークフロー（業務の流れ）の構築が欠かせないと考えている。DXの推進は、業務の効率化にとどまらず、分野により影響をもたらすことから、魅力的な垂井町をPRしていく材料としても有効的に活用していく。

**問** 人口減少することを想定したならば、これだけの行政施設が必要か。

**答 町長** 人口減少する中で、総合計画のテーマ戦略がどこまで効





果があるかというところの調整がこれからの5か年に求められる。時にはこの戦略の修正を含め、この指針に基づきながら動いていく。

**問** 未来戦略室、将来課といった新たな課を設置しては。

**答** 町長 既存のシステムを大幅に変えるときや見直しをする中で、そうした所管部署も考えられるため検討していく。

**問** 新たな産業育成・企業誘致をどのように捉えていくか。

**答** 産業課長 地域外の方に農業に関わっていただくために、短期での就労をあっせんする制度の構築構築に当たってはDXを活用することを現在検討している。現在の経営体は変更せず、農業に関わる方を増やしていく手法のため、地域の皆様の不安も解消でき、従事される方がどういった方なのか、実際関わり、働く様子も分かることから、参入障壁を下げることで期待できると考えている。また、林業分野の企業進出は、西南濃森林組合が実施する間伐事業に対し補助などを行っており、切捨て間

伐だけでなく利用間伐も行われている。間伐材の活用促進については、今後とも様々な視点から検討していく。

**問** 採算が合わない企業進出されないで、官側が迎えながら進めていくべきではないか。

**答** 産業課長 民間企業の進出も、今後の施策を考えていく上では大変重要なものと考えているため、いろいろな情報をいただきながら共に考えていければと思っている。



中村ひとみ 議員

安心で安全な子育て環境の整備について

(子育て応援トータルプランを受けて)



安心で安全な子育て環境の整備について (子育て応援トータルプランを受けて)

**問** 0歳児の見守り訪問事業の具体的な展開は。

**答** 町長 安心して出産、子育てができるように伴走型の相談支援事業を開始した。また、妊娠期から子育て期までの切れ目のないサポートを行うべく、子育て世代包括支援センター事業も実施している。民間の資源を活用しながら、また適正な人員確保に努めつつ、0歳児だけでなく、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を実施できるよう努めていく。

**問** 家事支援員等の資格を取るための支援制度などが必要では。

**答** 町長 特定の資格取得に対す



る制度の創設は、なかなか困難な問題だと考えているが、妊娠期から出産後も継続して支援が必要の方が増えつつあるため、支援内容の充実も必要だと実感している。

**問** 柔軟かつ積極的に子ども食堂の整備を進めるべきでは。

**答** 子育て推進課長 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、令和5年度にはアンケート調査を予定しており、この中で子どもの居場所へのニーズも併せて調査する。地域におけるニーズを把握するとともに、子どもの居場所の運営や経営を支援する人材や団体の確保などに努めていく。



**問** ボランティア団体と行政が密に連携していくことが重要と考えるが。

**答** 子育て推進課長 他の自治体で実施されている子ども食堂やフードドライブなどを運営する団体の視察などを行い、事業に興味を持つている団体に、補助についても周知していきたいと考えている。

**問** 奨学金の代理返還制度を導入する企業への支援制度を創設しては。

**答** 産業課長 地元企業へのU・I・Jターン就職や人材確保の促進につながる動機づけとなるのであれば、企業への支援は大変有効な手段と考えられる。そのため、すでに実施している先進自治体の実施状況やその効果などを調査しながら、制度の設置について検討していく。

**問** 町内の企業への具体的な周知や働きかけなどはこれからか。

**答** 産業課長 企業連絡会の活用や、町商工会に働きかけながら、制度の周知に努めていきたいと考えている。



角田 寛 議員

地域防災計画について



地域防災計画について

**問** 泥川治水対策浸水被害防止に関する要望の進捗状況は。

**答** 町長 県から平成21年度に策定された牧田川圏域河川整備計画の中で検討すると、回答を受けており、また計画の中には泥川については排水機場を整備すると明記されている。町では、浸水被害を少しでも軽減させるため、令和5年度に取得用地の換地精算金予算を計上している。今後も地域に寄り添いながら、県と連携を図り取り組んでいく。

**問** 境野ため池の現在の状況と今後の改修は。

**答** 産業課長 ため池の堤体内部を調査したところ、経年劣化により複数の管の継ぎ目からコンクリー

トが剥がれ、水が漏れていることが確認できた。ため池機能を回復させるためには堤体から根本的な補修をする必要があるが、多額の予算が必要と見込まれることから、県事業として改修できないか調整を図っている。

**問** 町内ため池の機能点検の実施方法は。

**答** 産業課長 県土地改良事業団体連合会にため池保全管理サポートセンターが設置され、県のため池等専門職の指導の下、町内全てのため池の点検を毎年実施している。

**問** 防災行政無線の点検の実施方法は。

**答** 企画調整課長 毎年、役場庁舎内にある操作卓から屋外拡声子局に対し、動作試験や性能試験などの保守点検を行い、必要に応じて修繕等の対応を行っている。

**問** 自然災害から住民の命を守るための情報伝達に対する町の考え方は。

**答** 企画調整課長 防災無線は基本的には屋外で情報収集を行うツールとして、またメール配信や防災

アプリ、テレホンサービスなどは屋内・屋外を問わず広く情報収集を行うツールとして位置づけ、その活用をお願いしている。

**問** 公共施設の再生エネルギーの活用促進についての方向性は。

**答** 企画調整課長 公共施設のうち、避難所施設での停電時における対応については、避難者の生活を考える上で重要な課題であると認識している。公共施設における再生可能エネルギーの活用促進については、SDGsの13番目の目標に掲げている気候変動に対する具体的な対策も念頭に置き、今後、垂井町においてもこれらを視野に入れた取り組みを図っていく。

一般質問の様子をより多くの人に見ただけできるよう、動画配信サイト「YouTube」で配信しています。議員名の横のQRコードを読み取ると、動画を見ることができます。

運用方針はこちらから





4月9日、伊吹祭りが伊富岐神社で行われ、神楽が奉納されました。

天明7年から始まり、五穀豊穰と安全を祈願して毎年続けられています。

### 全国町村議会議長会 自治功労者表彰を受賞



町議会議員として、15年以上にわたり地方自治の振興発展に尽くした功績により、後藤省治議員と木村千秋議員が全国町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。

3月2日、第2回定例会第1日の開会前に表彰伝達式を行い、富田栄次議長から両議員へ賞状が手渡されました。

### 議会活動日誌

2月	
22日(水)	議会運営委員会
27日(月)	県町村議会議長会 理事会
	第3回西南濃町村議会議長会
	第2回不破郡町村議会議長会
3月	
2日(木)	第2回定例会第1日
	全員協議会
	文教厚生委員会
3日(金)	文教厚生委員会
7日(火)	総務産業建設委員会
8日(水)	予算審査特別委員会
9日(木)	予算審査特別委員会
10日(金)	予算審査特別委員会
15日(水)	第2回定例会第2日
16日(木)	全員協議会
	予算審査特別委員会
17日(金)	第2回定例会第3日
23日(木)	県町村議会議長会 第4回評議員会

### 町巡回バスを更新



栗原・表佐・東線の町巡回バス「すこやか号」が更新されたため、議員が見学しました。町民のみなさんが便利で快適に利用できることを確認しました。

### 編集後記

3月定例会では、令和5年度の各予算について、担当所管から説明を聴取するなどして、慎重に審査し、意見を付けて可決しました。

今後も議会・議員活動について、分かりやすく発信していきます。

広報研究会一同